

社友会だより

第 29 号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16

〒215-0021 平野昌明 内

編集者 大場省平

* 役員会の開催 *

- 日 時 平成 23 年 2 月 9 日 (水) 13:30~16:30
- 場 所 島嶼会館 (東京都港区海岸 1 丁目 4-7)
- 出席者 9 名 (法安、大場、長谷川、崎山、大和田、菅原、松本、松原、平野の各役員)

会長の挨拶

新年になって初の役員会であるが、皆さんと元気な顔を合わせることが出来て喜ばしい。

最近、会の運営がスムーズに行えるようになった。皆さんの努力に感謝します。

今後も、皆さんのご協力をお願いします。

1. 議事

(1) 事務局からの報告事項について

①入会状況及び米寿祝いの贈呈

- ・入会者 3 名、退会者 2 名で、会員数は 229 名。
- ・1 月に米寿お祝いを 3 名に贈呈した。

野村康雄様、湯沢重夫様、細川一枝様

なお、米寿は数え歳で計算することとし、今後は新年早々に贈呈することとした。

②平成 22 年度会費の納入状況

- ・未納者は 13 名 (未納率 5.6%) おり、「支払い案内と振り込み用紙」を社友会だより (会報) に同封して、支払いをお願いした。

③平成 22 年度の収支状況

- ・長谷川理事 (会計担当) から、平成 23 年 2 月 2 日までの収支状況を報告があり、現在順調に推移している旨、説明があった。

(2) 平成 22 年度の活動状況報告について

①2010「センツウ同窓の集い」開催結果

・平野事務局長から、「2010 センツウ同窓の集い」開催結果、5 地域で開催し、136 名の参加があり前回同様盛会であった旨、報告があった。

・松原理事 (レク担当) から中央では当日 68 名の参加があった。

なお、当日の集合写真を 1 月号の社友会だより送付時に同封送付した旨、報告があった。

・中央会場では、センツウアーカイブを DVD で放映し、好評であった。今後は、全国の会員等から写真を借用し、充実していくこととした。

②平成 22 年度の活動状況 (中間報告)

・平野事務局長から、平成 23 年 2 月 9 日までの活動状況の報告があった。

・今後は、総会及び同窓の集い開催時等には、地域を含めて写真撮影担当を置くこととなった。

・例年中央で開催している懇親会を 4 月上旬に東京都内で開催することとなった。

(3) 第 24 回定期総会の開催スケジュールについて

- ①平野事務局長から総会までの事務スケジュールを説明、了承された。

「第 24 回定期総会日程等」

・日 時 平成 23 年 7 月 9 日 (土) 12:00~

・場 所 銀座ラフィナート

東京都中央区銀座 1-26-1

・会員宛て案内状送付は、5 月末予定

②社友会会則 18 条に規定する運営細則等の制定権限機関の明確化について

社友会会則第 18 条に規定する「運営細則または申し合わせ事項」についての制定権限機関は、これまで総会か役員会か明確でなかったことから、このたび「役員会の決定による」こととした。

運営細則制定の迅速化を図ることを重視した。

(4) その他

菅原理事から、社友会ホームページは、100 Mby を限度とした無料のサービスを利用していたが、フォトギャラリー等の利用の増加に伴い 144 Mby を超えたことから 300 Mby までの有料のサービスで運営している旨、報告があった。なお、運営費は社友会負担とすることとした。

ボランティア活動 地域で活躍

[上中 健さん]

昨年 (平成 22 年 3 月) の退職後から、コツコツと音楽活動のボランティア活動を日々メインの生きがいとしてやってきたことで、社会福祉法人三田市福祉協議会から、過日取材を受け別紙の記事が三田市内の全所帯へ配布されましたので、お知らせします。

以前にも報告させて頂いたかと思いますが、52 歳で初めて東京単身赴任生活を 8 年間も貴重な体験をさせて頂き、その間にウクレレと出会い、練習している中で、故郷の三田に戻る時まで、何かに少しでも役立つように成ればと出きるだけ多くの場所で経験を積もうと、友達の自宅、社宅の懇親会、同僚の送別会、友人の結婚披露宴等で演奏を行ってきました。

最初の頃はぜんぜん期待どおりではなかったと思いますが、皆様の暖かいご支援で少しずつ経験させていただいたのが、今に生きてきたと感謝しています。

お陰様で昨年は 60 回も出演がありました。

きらり☆ボランティア

～ボランティア活動での素敵な出会い～

「チーム・歌人」上中 健さん (高次)

サラリーマンで定年まで後 10 年ほどになった頃、学生時代に熱中していた音楽をボランティア活動として再開し、定年後の昨年 4 月から本格的に始めました。

同じくボランティア活動をしている同級生に相談したのがきっかけで、音楽仲間と「皆様いっしょに歌いましょう!!」を合言葉に「チーム・歌人」を結成しました。メンバーは、私 (ウクレレ・歌) と作田さん (歌)、市野さん (ウッドベース)、



▲演奏中の上中さん(左)と市野さん

今年も1月9回、2月も10回の予定があります。少人数や大人数の場所でも経験からノウハウができてきたので、それなりに皆様から「知っている歌で楽しかったよ」とか「次は〇〇の歌を歌いたいよ」と喜ばれ、次の出演依頼が来るようになったのが嬉しくやりがいが出てきています。

これからも私のやりがいとしてこのボランティアを継続して少しでも元気で楽しい生活を共に生きたいと思っています。

中央地区 懇親会開催 東北・北関東大震災に一役

平成23年4月9日(土)、13:00～東京駅近くのレストラン、ポールスターにて開催した。



当日は、生憎の雨模様となり、また、東北地震直後でありましたが、22名の方が参加され、参加者の近況報告等大いに語られ親交を深められました。

松原さんの司会により開会、続いて法安会長が挨拶され、開催自粛のご意見もありましたが、このようなことを積極的に行うことによりお金も動き、東北の復興にもつながるのでは、との思いで開催することとした。

久々の集まりですので、意見交換をしながら親交を深めたい。

開宴に先立ち今般被災されました方々のご冥福を祈り、参加者全員により黙祷を捧げた。

続いて、山根さんから、東北東北地震で被災された多くの方々にお見舞い申し上げたい。

また、このような会を自粛してしまうと日本の国も委縮してしまうので、おおいにやりましょうとのご発声により乾杯した。



宴の半ばで、参加者の近況報告に移りました。

「今井さん」今年80才になったので、栗畑は止めることとした。腰が痛いので初めて整形外科に行った。初めは馬鹿にしていたが、少しは良くなったとのこと。



「宮崎さん」私は83才になり、物忘れが多くなった。

顔は判っても名前が出ない。

ただ終戦直後、日本郵船の熱田丸に乗船、国際VHFの調査に行ったおり、ベルギーの海岸局のオペレーター(可愛い女性)とコンタクトした時の状況は、今でも覚えている。

「本波さん」出身地の岩手県久慈市は、石油備蓄基地が爆発炎上し、浜は大被害をうけた。しかし、実家と親類には人的被害はありませんでした。



「林(憲男)さん」元々無線屋です。センツウに入り工務部で認定点検業務を担当していましたがセンツウの無線技術は大変立派であったと思いました。

現在は、海外旅行を楽しんでいます。来月にはドバイとアブダビに行ってきます。



「中村晴永さん」センツウの大改革の初期プランは見ましたが、実行に移る前に去ってしまい残念であった。

しかし、技術部門の方、営業部門の方等が適材のポジションに収まり安堵している。今後もOBとして応援していきたい。現在は、環境経営学会の理事を務めており、今回の原発事故に対し政府に提言を行った。会には今後も参加したい。



「野村さん」米寿となり、会からお祝いを頂き有難うございました。郵政省の電波関係とセンツウ業務で一生を送れること感謝しています。これからも、皆さんにお会い出来ることを楽しみにしています。



「立石さん」横浜の港北ニュータウンにある、自然里山公園で、炭焼、薔薇の選定、雑草とり、案内役等をボランティアで行っています。

「鈴木(徹)さん」今回の地震により北茨城にある息子の嫁さんの実家が津波に襲われ、ご両親が胸まで浸かったが避難して、九死に一生を得て無事であった。

「谷冶さん」東北の納豆屋で毎年品評会で優秀賞を受けていたが、今回の地震で被災した。

今年の品評会では、谷冶家を取り寄せしている室蘭の納豆



屋さんが、最優秀賞を受賞した。来月行ってくる予定です。

「中野さん」港湾仕様の身では、サラリーマンは辛い。

お金も欲しいが、早めの定年も欲しい。

最後に、今年60才で定年を迎えられた小熊さんに、中締め



をお願い、小熊さんからは、このような会が催されることにより、東北・関東大震災の復興にも役に立つとの挨拶の後、関東一本締めにて閉会と成りました。



東北・北関東大地震より被災されました方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

次回の発行は、8月を予定します。ご寄稿をお待ちしております。